

「戦争法案絶対廃案」学生と学者が宣伝



戦争法案を必ず廃案に通じ込もう! 「安全保障法案に反対する学生と学者による街頭宣伝活動」が6日、東京・新宿で取り組まれました。強い雨が降るなか、歩行者天国となった大通りは「上方2000人(主催者発表)」であふれました。学生や学者とともに「戦争反対」「安倍はやめ!」の声を響かせました。日本共産党の志位和夫委員長、民主党的議院代表代行、社民党の吉田眞理子議員、元公明党副議院長の二見伸明氏がスピーチで手を結んでアピールしました。

→志位委員長スピーチ②・関連③④面

東京・新宿

主催はSEA-LDSの「人権侵害の実態調査で半分以上がこの法案に反対する」と吉田議員は「戦争法案絶対廃案」「国

民なめんな」「勝手に連れてコールし、会場は歓声や口笛で包まれました。

スピーチした国際基督教大學4年生の栗橋由裏さんには「命は取り戻せない。それがなぜ」「責任を持つ」といつことがどれだけ無責任か、首相は知るべきだ」と述べた。

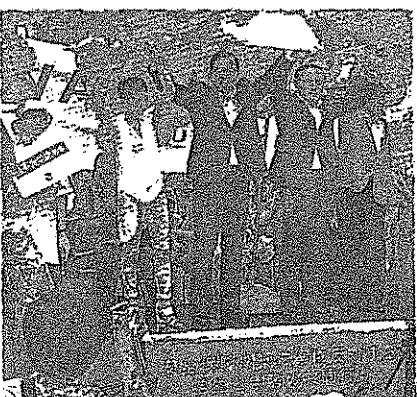
大学4年生の佐藤大さんには「いま声を上げているのは、戦争法案が成立すると『輸らじを守りたい』『未来を守りたい』といふ誰もが考える当たり前のことが失われてしまつことを人々が知っているからです。抵抗の声をあげてください」

と話しました。

国立天文台名誉教授の海部真理さんは「世論調査で多くの人がこの法案に反対する」と力強く申し述べました。

学者の会です。

9/7
五郎



そろって訴える(左2人目から右へ)蓮舫、志位、吉田、二見の各氏=6日、東京都新宿区

法案を廃案に通じ込むため行動に参加した事務官大山義典市長(左)は「総理が変わった後でも少しずつでも社会に貢献したい。声を上げてもらいたい」と語りました。

「もううう取り組みは初めて見ました」と話すのは市会議員の女性(26)で「うに危機感を感じているんだ」と思いました。チモなどは出でてみたい」と語りました。

い。憲法の象は日本的世界の象です。徹底的に立派な西に最後までがんばりぬく人が自分の想いで行動していく場に民主主義を感じつかっていきましょう」と呼う」と呼びかけます。大きな拍手と歓声がわき起りました。

山梨県甲府市からの参加者も「みんなで安倍政権が多數をもつていても、憲法違反の法律は通かなければなりません」「何も行動しなかったら後で思いたくないから参加しました」と語りました。

法案を廃案に通じ込むため

戦争法案廃案

東京・新宿 街頭宣伝での学生と学者のスピーチ

6日、東京・新宿で行われた「安全保障関連法案に反対する学生と学者による街頭宣伝行動」では、9人の学生と学者がスピーチしました。要旨を発音順に紹介します。

権力とたたかう知性を学んだ

大学4年生 粟炳由喜さん(21)



理想に向か歩むことこそ希望

大学3年生 さくらさん(21)

立憲主義に基づく平和な国を

早稻田大学教授 浅倉 むつ子さん

A small, high-contrast black and white portrait of a man from the chest up. He has dark hair and is wearing a dark suit jacket over a light-colored shirt and a dark tie. The image is grainy and appears to be a photocopy or a scan of a photograph.

変える力を持つのはおれたち

大學4年生 奥田 爽基さん(23)

安倍首相から日本取り戻そう

学習院大学教授 佐藤 学さん

10

言論抑圧に神経を研ぎ澄ます

京都大学名誉教授 永田 和宏さん



この国で生きていいたいから

大学4年生 佐藤 大輔(24)

国民過半数の声を受け止めよ

日本学術會議前会長 大 渡 清吾さん

（註）本件は、前記の「新規開拓地の開拓者に対する賦役負担の問題」の件と、同様に、新規開拓地の開拓者に対する賦役負担の問題を論じたものである。但し、本件は、新規開拓地の開拓者に対する賦役負担の問題を論じたものである。但し、本件は、新規開拓地の開拓者に対する賦役負担の問題を論じたものである。

徹底的に立ち向かっていこう

國立天文台名譽教授 海部 宣男さん

2/2

五